

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	食事の時間を楽しみながら召し上がって頂いている様子が見られない。静かに食べ、食事に集中して頂く事も必要であるが、食事に楽しみを持って頂けるような配慮が足りない。	利用者一人ひとりの状態に合わせて、口から美味しく食べて貰う事で、食への楽しみを持つ。	①本人や家族に尋ね、好みの物を把握しお誕生日に食べて頂く。 ②各ユニットで昼食前に嚥下体操を行う。 ③心のゆとりを持って食事の時間を過せるようBGMをかける事を試みる。	12ヶ月
2	33	入居者の重度化に合わせて、ホームでの看取りが必然化となってくるが、死に対する恐怖がある職員や死の場面の経験がない職員がいる。	看取りに対しての不安感をなくし、死に対する恐怖感を払拭する事で、看取りの必要な時に取り組める。	①看取りに関しての勉強会を行う。 ②社外研修に参加してもらえるような働き掛けを行う。 ③看取りの経験者から経験の少ない職員に対して話を聞く機会を設ける。	24ヶ月
3	27	現在行っているケア内容が、記録の不十分さから情報共有できていない事がある。	記録を書くことに慣れ、誰が見ても解かりやすい内容で情報を共有することが出来る。	①様式に捉われず、記入することの習慣をつける。②専門用語を使用せず、記録やコミュニケーションをとる。 ③文字で表現しづらい事柄は、画像を用い共有する。	24ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。